

避難所等一覧



指定避難所・指定緊急避難場所

No.	施設名	所在地	電話番号(048)	指定緊急避難場所	対応災害			AED	掲載ページ	
					土砂	地震	火事		水害	地震
1	総合体育館・アタゴ記念館	寄居 1173	5 8 1-8 3 1 1	-	○	○	○	AED	P10/E-3	P25
2	中央公民館	寄居 1300	5 8 1-2 6 6 2	-	○	○	○	AED	P10/F-3	P25
3	寄居小学校	寄居 206	5 8 1-0 1 0 2	歩	○	○	○	AED	P10/E-3	P25
4	西部コミュニティセンター	末野 1491-1	-	-	○	○	○	-	P10/D-3	P25
5	生涯学舎(やまとびあ風布) ※土砂災害時は除く	風布 212	-	歩	-	○	○	-	P13/B-1	P25
6	桜沢小学校	桜沢 2740	5 8 1-0 1 3 1	歩	○	○	○	AED	P11/A-2	P25
7	寄居中学校	桜沢 2000	5 8 1-0 1 7 2	歩	○	○	○	AED	P11/A-2	P25
8	寄居城北高等学校	桜沢 2601	5 8 1-3 1 1 1	-	○	○	○	AED	P11/A-2	P25
9	折原小学校	立原 385	5 8 1-0 3 2 8	歩	○	○	○	AED	P14/E-1	P25
10	折原コミュニティセンター	立原 367-1	-	-	○	○	○	-	P14/E-1	P25
11	鉢形小学校	鉢形 645	5 8 1-3 3 0 0	歩	○	○	○	AED	P10/F-4	P25
12	城南中学校	鉢形 2222	5 8 1-0 1 2 7	歩	○	○	○	AED	P10/F-4	P25
13	鉢形コミュニティセンター	鉢形 1176-1	-	-	○	○	○	-	P10/F-4	P25
14	鉢形財産区会館	鉢形 211-3	5 8 1-2 1 2 3	-	○	○	○	AED	P11/A-3	P25
15	総合社会福祉センターかわせみ荘	保田原 321	5 8 1-3 8 6 1	-	○	○	○	AED	P11/A-3	P25
16	男衾小学校	富田 53	5 8 2-0 0 3 7	歩	○	○	○	AED	P12/D-4	P26
17	男衾中学校	富田 65	5 8 2-0 0 3 2	歩	○	○	○	AED	P12/D-4	P26
18	男衾コミュニティセンター	赤浜 1267-1	5 8 2-0 8 8 2	-	○	○	○	AED	P12/D-4	P26
19	用土小学校	用土 2859	5 8 4-2 0 0 4	歩	○	○	○	AED	P7/C-3	P25
20	用土コミュニティセンター	用土 2856-1	-	-	○	○	○	-	P7/C-3	P25
21	末野公園	末野 971	-	歩	-	-	-	-	P9/C-3	P25

「指定避難所」は災害後、一時的に避難生活を送るための施設です。「指定緊急避難場所」は切迫した災害の危険から逃れるための場所です。開設に関する情報は、町ホームページ等を確認してください。

福祉避難所

No.	施設名	所在地	電話番号(048)	AED	掲載ページ
22	保健福祉総合センター	保田原 301	5 8 1-8 5 0 0	AED	P11/A-3 P25
23	特別養護老人ホームあきやま苑	秋山 721	5 8 1-8 7 1 0	AED	P13/C-1 P25
24	介護老人保健施設逍遙の郷	折原 2482	5 8 1-8 8 5 5	AED	P10/D-4 P25
25	介護老人保健施設やまざくら	末野 2109	5 8 0-0 8 8 8	AED	P9/C-2 P25
26	特別養護老人ホーム花ぞの	用土 2440-5	5 8 4-7 1 8 7	AED	P7/C-3 P25

「福祉避難所」は一般の避難所での生活が困難な高齢者、障害者等(要支援者)を対象とした施設です。受入対象者や受入可能人数に制限があります。

公共機関	寄居町役場	寄居 1180-1	(048)581-2121	熊谷地方気象台	熊谷市桜町 1-6-10	(048)521-7911
	花園消防署寄居分署	寄居 1144-2	(048)581-0119	NTT 東日本	113(携帯電話からは 0120-444-113)	
	深谷市消防本部花園消防署	深谷市小前田 537	(048)584-0119	東京電力パワーグリッド	フリーダイヤル 0120-995-007	
	寄居警察署	桜沢 923	(048)581-0110			
	熊谷県土整備事務所	熊谷市新堀 500	(048)533-8778			

地震対策

地震が起きる前に(事前対策)

家族の防災会議

- 日頃から「屋内の安全な場所」「避難場所、避難経路」「備蓄品・非常用持出品の中身」等を確認しましょう。
- 実際に避難経路を歩き、ハザードマップに経路や危険箇所等を記入しましょう。



安否連絡方法の確認

- あらかじめ、緊急連絡先となる親戚や知人を決めておきましょう。
- 「災害用伝言ダイヤル(171)」の使い方や公衆電話の設置場所等を確認しましょう。



自宅からの脱出ルートの検討

- 玄関から出られない場合に備えて、窓やベランダ等、複数の脱出ルートを考えてみましょう。
- 2階等から避難する場合に備えて、避難はしごを用意しましょう。
- 脱出ルートには、障害になるものを置かないようにしましょう。
- 枕元に懐中電灯、スリッパ・靴等を用意しましょう。

安全な経路での避難

- あらかじめ避難先までの避難経路を複数決めておきましょう。
- 避難経路の中から、安全に通行できる経路で避難しましょう。



地震が起きたら

自分や家族の安全を守るためには、慌てず行動することが重要です。いざという時に慌てないように、地震発生から数日間の主な行動の流れを確認しましょう。



慌てずに身を守る



- 落ち着いて行動します。
- 丈夫な机の下に入り、座布団等で頭を保護します。
- 窓ガラスの破損、家具類の転倒、落下物に注意します。

火を消す



- 揺れがおさまってから落ち着いて火の始末をします。

スリッパ・靴等を履く



- 屋内でもガラス片等でケガをするおそれがあります。

近所の人々の安否確認



- 隣近所の人々の安否や被害状況等を確認します。

消火活動



- 火災が発生したら、周囲の人と協力して初期消火を行います。

店舗や乗り物にいる場合

- 店員や乗務員の指示に従います。
- つり革、手すりにしっかり握ります。
- 天井や棚からの落下物に注意します。

避難用出口の確保

家族の安全確認

正確な情報の確認

自宅で過ごす場合

家の被害を点検する



- ライフライン(電気、ガス、水道)に被害がないか確認します。
- ドアや窓が開閉するか確認します。
- 部屋の片付けをします。

避難先に向かう場合

避難時の行動

- 電気のブレーカーを切り、ガス、水道の元栓を閉めます。
- 避難先に向かうことを親戚や知人等に連絡します。
- 経路の安全を確認しながら、避難先に向かいます。

自宅で過ごす場合

備蓄品で生活する



- 備蓄品・非常用持出品を消費しながら生活します。

避難所で過ごす場合

避難所での行動

- 係員の指示に従います。
- 共同生活のルールやマナーを守り、協力しながら生活します。

地域活動への協力

防犯・防火パトロールへの参加

避難行動要支援者への支援

マグニチュードと震度

マグニチュード(以下Mと表記)は、地震の規模を表す単位です。関東大震災はM7.9、阪神・淡路大震災はM7.3、東日本大震災はM9.0(国内観測史上最大)でした。Mが0.2大きくなると地震のエネルギー規模は約2倍に、またMが1大きくなると約32倍になります。

地震の震度は各地点の揺れの大きさを表します。ある地点が実際にどう揺れるかは、地震のエネルギー規模だけでなく、震源からその地点までの距離、地盤条件等に左右されます。

マグニチュードと震度の関係は、電球の明るさと机の上の明るさの関係に例えることができます。

同じ電球からの光でも、机がどの位置にあるかで机の上の明るさは異なるように、

マグニチュードが同じ地震であっても、震源が遠ければ震度は小さく、震源が近ければ震度は大きくなります。

マグニチュード(電球の明るさ)



震度(机<光の強さ)

